

大型連休のドライブ前には「タイヤ」チェックを！

「JAFワンポイントアドバイス」による車両チェックではタイヤの不具合が最多の12万件

JAF（一般社団法人日本自動車連盟、会長田中節夫）は、ロードサービス救援現場で故障救援依頼の応急処置を行った後、故障箇所以外にもオイルや冷却水、バッテリー、タイヤなどを無料で点検し、二次事故（故障）の防止を図る「ワンポイントアドバイス」を行っています。平成23年度（H23.4.1～H24.3.31）は、175万4320件実施し、点検の結果、応急処置または修理が必要だった箇所は27万6049件にのぼりました。そのうち最も多かったのはタイヤ関係で、「空気圧」「摩耗・ひび割れ」などの不具合が11万9617件ありました。

JAFでは、クルマでお出かけの前や定期的にタイヤなどの車両点検を行うよう呼び掛けています。

- データ詳細は→「ご利用時の安心サポート」

<http://www.jaf.or.jp/rservice/system/advice.htm>

高速道路は「タイヤのパンク」と「燃料切れ」にご注意！

大型連休は高速道路を利用する機会も増えるシーズンです。昨年のゴールデンウィーク（H23年4月29日～5月8日）にJAFが行った高速道路のロードサービスは、全国で4756件、1日平均476件でした。これは普段の1日平均の1.6倍となります。（高速道路におけるロードサービス H23年度年間実績 111,829件/1日平均 306件）トラブルの内容は「タイヤのパンク」が最も多く1353件（全体の約28%）、次いで「燃料切れ」の577件（全体の約12%）でした。

また、高速道路上での追突事故が多発しています。路上トラブルの際には、必ず車外の安全な場所に避難してから救援依頼をしていただくようお願いしています。

- 昨年の救援データ詳細は→「データで見るロードサービス」

<http://www.jaf.or.jp/rservice/data/2011/season.htm>

◆気をつけたい高速道路の渋滞

①渋滞末尾と区間内での追突事故

渋滞の最後尾や渋滞区間内では追突事故が発生しやすくなります。車間距離を十分にとり、周囲のクルマの動きに注意しましょう。

②思わぬ渋滞で燃料切れ

「次のサービスエリアで給油をと思ったところで渋滞してガス欠に…」ということにならないよう早めの給油を心がけましょう。

③子どもへの日差し（脱水症状）

チャイルドシートに座っている子どもの背中が汗でびしょりという経験はありませんか？日差しの強くなるこれからの季節、車内でも直射日光が身体にあたる場合は、多量の発汗などにより、脱水症状になる場合もあります。こまめに水分補給を心がけるほか、直射日光があたらないように日よけ（サンシェード）やタオルなどを活用しましょう。また、チャイルドシートの金具が直射日光で熱せられ、乗車の際にやけどをする場合がありますので注意してください。

このニュースリリースのお問い合わせは、

JAF広報部 電話 03-3578-4920 へ お願いします。